

### ■英国：気候変動委員会、2050年カーボンニュートラルを提言

英国の諮問機関である気候変動委員会（CCC）は2019年5月2日、同国が2050年までにカーボンニュートラルを達成することを提言するレポート「Net Zero」を発表した。現在、英国は2008年気候変動法により、温室効果ガス（GHG）を2050年までに1990年比80%削減することを定めているが、2018年10月に政府が、これを上回るカーボンニュートラル達成の可能性や時期についてCCCに諮っていた。同レポートによると、カーボンニュートラル達成にかかる年間のコストは2050年まで国内総生産（GDP）の1~2%になると推計され、2008年に推計したGHG80%削減の場合のコストとほとんど変わらないとしている。これは、近年の再エネやバッテリーなどのコスト低下によるところが大きいですが、カーボンニュートラル達成には、熱供給の低炭素化、CCS（二酸化炭素の回収・貯蔵）の開発、ガソリン・ディーゼル車の販売禁止（2040年）などが急がれるとし、政府の政策によりこれらを加速させる必要があるとしている。なお、地域の特性を考慮して、スコットランドについては2045年までにカーボンニュートラルを、ウェールズについては2050年までに1990年比95%削減を推奨している。